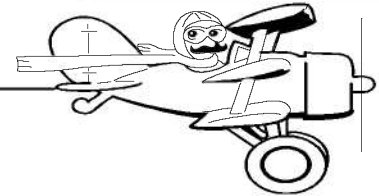


今週は

法人向けお勧めプラン



企業を支えているのは、経営者と従業員。ですから、経営者と従業員に十分な保障を用意することは、会社全体の基盤を盤石にすることに繋がります。それでは具体的にどのような保障をどのような保険で備えれば良いのか見てみましょう。

	リスク区分	準備すべき資金	お勧めプラン (例)
経営者	死亡	死亡退職金	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 定期保険 <ul style="list-style-type: none"> ● 割安な保険料で大きな保障が確保できます。 ◆ 無解約返戻金型定期保険 <ul style="list-style-type: none"> ● 保険期間を通じて解約返戻金を無くしたことにより、同じ保険期間・保険金額であれば、通常の定期保険よりも保険料が割安です。 ◆ 無解約返戻金型収入保障保険 <ul style="list-style-type: none"> ● 保険期間を通じて解約返戻金を無くしたことにより、割安な保険料を実現しました。
	退職	退職慰労金	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 終身保険 <ul style="list-style-type: none"> ● 途中の解約返戻金を利用して生存退職金を準備することができます。 ◆ 養老保険 <ul style="list-style-type: none"> ● 退職時期を満期に合わせることで、満期保険金を生存退職金として利用することができます。 ◆ 逡増定期保険 <ul style="list-style-type: none"> ● 途中の解約返戻金を利用して生存退職金を準備することができます。 ● 保険期間により、保険料の1/2、1/3、1/4を損金とすることができます。 ◆ 98歳満了定期保険 <ul style="list-style-type: none"> ● 途中の解約返戻金を利用して生存退職金を準備することができます。 ● 保険料の1/2を損金とすることができます。
	入院	固定費補填資金	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 医療保険 <ul style="list-style-type: none"> ● 業務上・業務外を問わず入院を保障しますので、入院給付金を固定費の支払に充当することができます。
従業員	死亡	死亡退職金	◆ 役員死亡退職金に同じ
	退職	退職一時金	◆ 役員退職慰労金に同じ
	入院	傷病見舞金	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 医療保険 <ul style="list-style-type: none"> ● 業務上・業務外を問わず、従業員の見舞金の原資を確保することができます。

※ 契約形態はすべて、契約者および受取人：法人・被保険者：役員または従業員となります。

今回は、法人契約向けのお勧めプランを紹介いたしました。経営者として、どのような保障が必要であり、また、現在ご加入されている生命保険がそれに対応しているのかをぜひチェックしてみてください。その上で最適な生命保険商品を検討されることをお勧めします。

具体的なご相談に応じますので、お気軽に声をかけてみてください。